

栃木の 土地 改良



みどり
水土里ネットとちぎは本会の愛称です。

第525号

令和2年度第1号



『こじはん食べっぺ』

「こじはん」とは、間食すなわち『おやつ』という意味の方言。主に、握り飯、団子、野菜の漬物などで、3時頃になると、あちこちの田んぼや畑の片隅で「こじはん」を食べながら、家族そろって談笑していました…が、いまは機械化により農業形態が変わり、「こじはん」という言葉を耳にする機会は少なくなりました。





栃木の土地改良

第525号 | 令和2年度第1号

MAIN CONTENTS

ごあいさつ

- ◇新任ごあいさつ 栃木県農政部長 1

定期人事異動

- ◇栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動 2
◇栃木県職員（土地改良関係）の退職者（令和2年3月31日付け） 2
◇本会職員の定期人事異動 3
◇本会職員の退職者（令和2年3月31日付け） 3

会議

- ◇第104回通常総会を開催 4
◇令和元年度土地改良区体制強化事業統合整備推進研修会を開催 5

事業情報

- ◇令和元年度多面的機能支払交付金にかかる活動組織研修会を開催 6,7
◇令和元年度換地委員等実務研修会を開催 8
◇「とちぎ水土里ネット女性の会」（仮称）設立準備委員会を開催 9

起工式

- 県営経営体育成基盤整備事業 引田地区起工式 10
県営経営体育成基盤整備事業 笹原田地区起工式 10

表彰

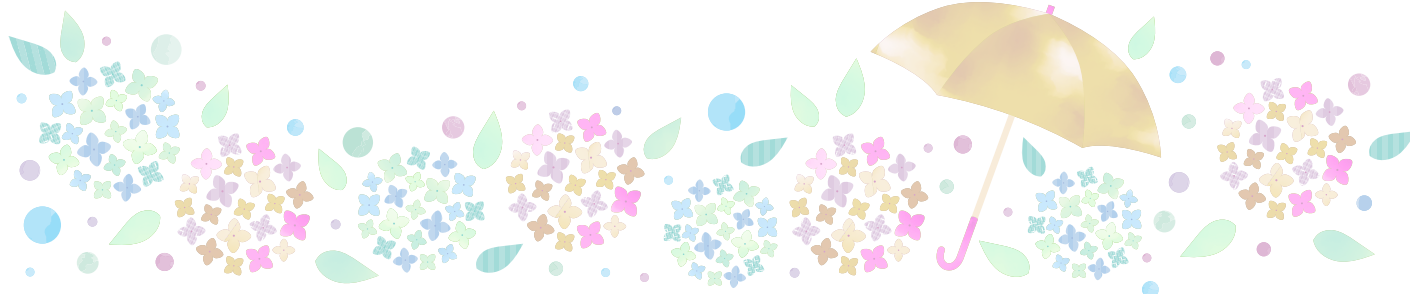
- ◇第61回全国土地改良功労者等表彰 11

会員情報

- シリーズ土地改良区紹介⑦水土里ネット塩原 12,13

案内

- ◇各種資格取得者紹介（平成31年4月～令和2年3月） 14
◇『第105回臨時総会・令和2年度会員研修会』開催について 14
◇出前講座や会員向けホームページサービスを活用ください 14
◇土地改良施設カードを作成しませんか？ 15
◇会員の「変更」について 15
◇クールビズ開始のお知らせ 15
◇本会における新型コロナ対策について 15
◇株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ 16
◇農業農村整備推進懇談会および研修会中止のお知らせ 16
◇第43回全国土地改良大会（群馬大会）延期のお知らせ 16





新任ごあいさつ

栃木県 農政部次長

青柳 俊明

この度 4 月 1 日付の人事異動により、農政部次長に就任いたしました青柳でございます。

会員の皆様方には 日頃から本県の農業農村の振興、とりわけ農業農村整備の推進に御理解、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発出される中、本県においても感染者が増加するなど、予断を許さない状況が続いています。農業分野においても、牛肉や花き、観光いちご園などで深刻な影響が出ております。県では、農業活動への影響を最小限にとどめ、農畜産物の販売促進や、農家の労働力確保などに関係機関と連携し全力を挙げて取り組んでまいります。

昨年度を振り返ると、10 月には天皇陛下の皇位継承に伴う大嘗祭に本県のオリジナル品種である「とちぎの星」が供納され、本県が後世に語り継がれる大変名誉な年となりました。また、いちご新品種の「栃木 i37 号」と「ミルキーベリー」の一般販売が始まり、流通関係者や消費者から「いちご王国・栃木」として、高い評価を得ることができました。

一方で、10 月の令和元年東日本台風による災害、全国的な CSF（豚熱）の感染拡大など、災害に直面した年でもありました。

今年度は、令和元年東日本台風による被害からの復旧・復興に引き続き全力で取り組むとともに、気

候変動や大規模災害、CSF（豚熱）などの新たな脅威にも適切に対応して参ります。

さらに、施設園芸の生産性向上や水田を活用した土地利用型園芸の生産拡大を図る「園芸大国とちぎづくり」を重点的に推進することとし、将来の本県農業を担う人材の確保・育成にも積極的に取り組んでいきます。

また、今年は 10 年後を見据えた次期農業振興計画策定の年であります。新たな計画の策定に当たっては、現計画である「とちぎ農業“進化”躍動プラン」の取組を検証するとともに、地域の皆様の声を十分に踏まえながら、強い農業づくりを基本として AI などの未来技術の活用や気候変動への対応、SDGs の理念など、新たな視点も取り入れた方向性を打ち出すことにより、農業者が自信と誇りを持ち、県民から広く支持をいただける農業・農村の実現を目指して参りたいと考えております。

今後とも、『成長産業として進化する農業・栃木』の実現に向け、引き続き関係職員が一丸となって取り組んで参りますので、会員の皆様方の一層の御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の益々の御活躍と御健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

栃木県職員(土地改良関係)の定期人事異動

◆令和2年4月1日付け土地改良関係幹部職員(○印は昇任、敬称略)

栃木県理事〔栃木県農業振興公社派遣〕(農政部次長)	荒井 真一
農政部次長(生産振興課長)	○青柳 俊明
生産振興課長(経営技術課主幹〔担い手育成担当〕)	青木 岳央
河内農業振興事務所次長兼管理部長(保健環境センター一次長兼総務部長)	豊田 光徳
河内農業振興事務所次長兼企画振興部長(農村振興課主幹兼課長補佐〔総括〕)	和氣 芳道
河内農業振興事務所農村整備部長(塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長補佐〔総括〕兼整備課長)	荒川 和之
上都賀農業振興事務所農村整備部長(塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長)	福田 典耕
農政部参事兼芳賀農業振興事務所長(農政部参事兼那須農業振興事務所長)	原 利浩
芳賀農業振興事務所次長兼管理部長(河内農業振興事務所次長兼管理部長)	仲山 浩正
芳賀農業振興事務所次長兼企画振興部長(下都賀農業振興事務所次長兼企画振興部長)	早乙女和彦
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長(農政部参事兼塩谷南那須農業振興事務所長)	清水 靖夫
下都賀農業振興事務所次長兼企画振興部長(芳賀農業振興事務所企画振興部長補佐〔総括〕兼企画振興課長)	○手塚 俊介
下都賀農業振興事務所主幹(河内農業振興事務所農村整備部長)	○齋藤 清
農政部参事兼塩谷南那須農業振興事務所長(農政部参事兼下都賀農業振興事務所長)	南木 好樹
塩谷南那須農業振興事務所次長兼企画振興部長(畜産振興課主幹)	杉井 拳
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長(安足農業振興事務所企画振興部長)	増田 康則
塩谷南那須農業振興事務所次長兼企画振興部長(畜産振興課主幹)	杉井 拳
農政部参事兼那須農業振興事務所長(農政部参事兼芳賀農業振興事務所長)	齋藤 実
那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長(那須農業振興事務所農村整備部長補佐〔総括〕兼調査保全課長)	○後藤 伸一
安足農業振興事務所長(芳賀農業振興事務所次長兼企画振興部長)	澤田 和美
安足農業振興事務所企画振興部長(農村振興課主幹〔技術調整担当〕)	木村 浩幸
農政部参事兼農村振興課長(農村振興課長)	○金原 啓一
農村振興課主幹〔技術調整担当〕(下都賀農業振興事務所主幹)	川嶋 一将
農地整備課主幹〔水利保全担当〕(農地整備課課長補佐〔総括〕)	○阿部 恒久
監理課総務主幹(農地整備課長補佐〔総括〕事業管理担当)	○松本 正
技術管理課検査監(農地整備課主幹〔水利保全担当〕)	渋井 亨

○

○

栃木県職員(土地改良関係)の退職者 (令和2年3月31日付け)

◆退職者(敬称略)

上都賀農業振興事務所農村整備部長	池田 勝浩
下都賀農業振興事務所副主幹	高橋 伸一
那須農業振興事務所広域ダム管理支所長	阿久津 啓

第104回通常総会を開催

日時：令和2年3月25日（水）

午前10時30分～

場所：栃木県土地改良会館

会員総数144の内、会員144名の出席（内本人出席15名、代理出席0名、書面による出席129名）のもと、第104回通常総会を開催し、以下の9議案について審議をいただいたところ、全て原案どおり承認・議決されました。

なお、功労者表彰受賞者は後記のとおりです。

【議事】

- 第1号議案 令和元年度一般会計予算の補正
- 第2号議案 令和2年度事業計画
- 第3号議案 令和2年度賦課金徴収基準及び徴収の方法
- 第4号議案 令和2年度受託料徴収基準
- 第5号議案 令和2年度一般会計予算
- 第6号議案 令和2年度役員報酬
- 第7号議案 令和2年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法
- 第8号議案 令和2年度金銭の預入先
- 第9号議案 総会議決事項の理事会委任

◆令和元年度表彰者（敬称略）

個人表彰（8名）

◎土地改良区理事長（4名）

祖母井善昌（新里土地改良区）

福富 洋（針ヶ谷土地改良区）

臼井 誠延（黒川東土地改良区）

入野 正明（芳賀台地土地改良区）

◎県職員（3名）

池田 勝浩（上都賀農業振興事務所農村整備部長）

高橋 伸一（下都賀農業振興事務所副主幹）

阿久津 啓（那須農業振興事務所〔広域ダム管理支所長〕）

◎土地改良区職員（1名）

篠崎美佐子（市貝町土地改良区）



大久保会長挨拶

令和元年度土地改良区体制強化事業 統合整備推進研修会を開催

日時：令和2年1月30日（木）

午前10時～

場所：宇都宮市内

全国水土里ネットの主催で令和元年度土地改良区体制強化事業統合整備推進研修会が開催され、栃木県内外から土地改良区等の役職員及び県、市町の担当職員延べ182名が参加しました。

本研修は、毎年、東西ブロックから各県1回ずつ開催されているもので、今年度は東ブロックでは栃木県が開催県となり、土地改良区の統合再編、事業運営の透明化の推進による組織運営基盤、事業実施体制の強化を図る

ことを目的として開催されました。

全国水土里ネット支援部長 市村和寿氏による主催者挨拶、本会池田専務理事による開催県挨拶の後、市村支援部長から「土地改良区の体制強化及び滞納処分について」、農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課利用調整係長の中村友哉氏から「土地改良制度の展開方向」、同課長補佐の高橋宏昭氏から「複式簿記会計ソフトの開発」について、それぞれ講義が行われました。

また、「土地改良区の合併事例発表」として、南河内土地改良区事務局長の野澤崇氏から本土地改良区における合併事例が発表され、最後に全体討論として、質疑応答が行われました。



全国水土里ネットの市村支援部長



南河内土地改良区の野澤事務局長

令和元年度多面的機能支払交付金に かかる活動組織研修会を開催

日 時：令和2年2月14日（金）

午後1時30分～

場 所：宇都宮市文化会館 大ホール

動員数：約1,040名

農村地域では、過疎化や高齢化が進展しており、農地や水路、農道など地域資源を管理する人材の不足により、年々活動の継続が難しくなっております。また、農地集積の加速により、畦畔や水路等の管理も担い手への負担が増大する傾向にあります。本研修会は、そのような課題解決の場として、また多面的機能支払交付金の今後の動向についての情報収集の場として開催しているものです。

開会に先立ち、大久保会長による主催者挨拶、関東農政局農地整備課中嶋課長による来賓祝辞が述べられました。続いて「とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ及び写真コンテスト」の表彰式が執り行われ、各組織の代表者が壇上にて表彰状の授与、水谷審査委員長による講

評、表彰者・主催者・来賓等による記念撮影と滞りなく行われました。

活動組織研修会では、関東農政局農地整備課多面的機能支払推進室奥間室長より「多面的機能支払の現状と今後の展開方向」について説明され、県農村振興課から「地域営農ビジョンの作成について」その趣旨やメリット、策定までの手法について説明されました。さらに、活動組織の優良事例として「水明会」（宇都宮市）の江連女性部長が、ワンチーム（動画を活用した広報活動）と題し、様々な共同活動状況を動画にまとめWEB上で公開している活動を紹介されました。最後に、共同活動にかかる技術研修として県協議会事務局より、水路の漏水補修事例について点検・機能診断の必要性や方法を、動画を交えて説明しました。参加者はそれぞれの説明を時にはメモを取りながら熱心に聞き入っておりました。

また、会場の一角ではマップ及び写真コンテストの入賞作品と地域営農ビジョン作成にかかる啓発パネルをそれぞれ展示し、来場者に披露いたしました。



表彰状授与



受賞者記念撮影



「水明会」江連女性部長



熱心に聞き入る参加者

「とちぎの豊かな農業・農村づくりマップ 及び写真コンテスト」入賞作品

とちぎの豊かな農業・農村づくりマップコンテスト

田んぼまわりの生きものマップの部



最優秀賞

神長地域自然を守る会（那須烏山市）

優秀賞

みどりの里こてやま（宇都宮市）
 益子町環境保全広域協定運営委員会 小泉環境保全会（益子町）
 あらい水と緑の会（栃木市）
 みたとうぶ保全会 八幡の郷小宅（小山市）

審査員特別賞

西山田自然環境保全会（栃木市）
 富田七環境保全会（栃木市）

地域の宝発見マップの部

該当なし

とちぎの豊かな農業・農村づくり写真コンテスト

田んぼまわりの生きもの調査の部



最優秀賞

夢・はにしの里協議会（壬生町）

優秀賞

益子町環境保全広域協定運営委員会 前沢環境保全会（益子町）
 益子町環境保全広域協定運営委員会 大郷戸環境保全会（益子町）
 益子町環境保全広域協定運営委員会 里西環境保全会（益子町）

審査員特別賞

みたとうぶ保全会 糺の杜渋井（小山市）

地域ぐるみの活動の部



最優秀賞

小山用水保全協議会 南和泉環境保全会（小山市）

優秀賞

下川岸農地保全会（宇都宮市）
 益子町環境保全広域協定運営委員会 前沢環境保全会（益子町）
 長久保五行会（さくら市）

審査員特別賞

益子町環境保全広域協定運営委員会 東田井環境保全会（益子町）

令和元年度換地委員等実務研修会を開催

日時：令和2年2月21日（金）

午前10時30分～

場所：栃木県土地改良会館

本研修会は、換地事務の円滑な推進を図ることを目的として開催され、令和元年度新規着手地区の土地改良区役員及び令和2年度新規着手予定地区である推進委員を

はじめ栃木県並びに市町の担当者等約50名が参加いたしました。本会池田専務による開会挨拶の後、換地の流れと換地業務を行う上で基礎となる「換地設計基準」及び「換地選定作業」を行いました。各グループ分かれて実践した「選定作業」では、初めての内容にもかかわらず、土地改良換地土の説明に耳を傾けながら熱心に作業を行う姿が伺えました。

《研修項目》

- 1 換地事務処理について 2 換地設計基準について 3 換地選定（演習課題）



池田専務理事挨拶



換地選定作業風景①



換地選定作業風景②



計画原案発表風景



「とちぎ水土里ネット女性の会」(仮称) 設立準備委員会を開催

日時：令和2年2月5日（水）

午前10時30分～

場所：栃木県土地改良会館

去る、令和元年12月10日、『全国水土里ネット女性の会』が発足いたしました。

本県でも、農業農村整備に携わる女性職員のネットワークを拡大、女性が農業農村整備の中核を担える環境づくり、そこから創出される情報の共有化や連携の強化を図ることを目的として、「とちぎ水土里ネット女性の会」(仮称)を設立するため、設立準備委員会を開催いたしました。冒頭、本会池田専務理事の挨拶をいただき、初顔合わせということもあり少し緊張気味の面持ちでしたが、準備委員の方々からの自己紹介を行いました。その後、設立趣旨、役員候補等の選任、更には、設立総会について協議、了承をいただき、総会へ諮ることといたしました。

これを機に、女性活躍の気運が高まり、活動の場が広がることを期待したいと思います。



県営経営体育成基盤整備事業 引田地区起工式

日時：令和元年 10 月 29 日（火）

午前 10 時 00 分～

場所：鹿沼市引田久保地内

起工式は、神事後、齋藤定夫引田土地改良区理事長が主催者挨拶をされ、続いて、佐藤信鹿沼市長、小林幹夫栃木県議会議員、和氣好延栃木県上都賀農業振興事務所長が、祝辞を述べられ工事の安全を祈願しました。

◇事業概要◇

事業名	県営経営体育成基盤整備事業
事業区域	鹿沼市引田地内
事業実施年度	平成 30 年度～令和 5 年度
総事業費	6 億 5 千 3 百万円
総面積	42.0ha
組合員数	104 名



県営経営体育成基盤整備事業 笹原田地区起工式

日時：令和元年 11 月 1 日（金）

午前 10 時 00 分～

場所：鹿沼市笹原田地内

起工式は、神事後、橋本功笹原田土地改良区理事長が主催者挨拶をされ、続いて、佐藤信鹿沼市長、市田登市議会議員、和氣好延栃木県上都賀農業振興事務所長が、祝辞を述べられ工事の安全を祈願しました。

◇事業概要◇

事業名	県営経営体育成基盤整備事業
事業区域	鹿沼市笹原田地内
事業実施年度	平成 30 年度～令和 5 年度
総事業費	7 億 5 千万円
総面積	34.8ha
組合員数	61 名





表彰

祝

第61回全国土地改良功労者等表彰 団体表彰（金・銀・銅章）・個人表彰

団体表彰並びに個人表彰を受章されました皆さまに心よりお祝いを申し上げます。
誠におめでとうございます。

都道府県名	章	団体名・個人名（敬称略）	備考
栃木県	金	国分寺土地改良区	
	銀	江川南部土地改良区	
	銀	姿川土地改良区	
	銅	口栗野土地改良区	
	個人	小室 徳宝	黒羽土地改良区元理事長
	個人	山中 昇	思川西部土地改良区元事務局長
	個人	大橋 計良	二宮土地改良区事務局長





荻の田堰

シリーズ土地改良区紹介⑦

水 土 里 ネット 塩原

塩原土地改良区

(1) 土地改良区の沿革

塩原土地改良区のある那須塩原市は、平成 17 年 1 月 1 日に 3 市町（旧黒磯市・旧西那須野町・旧塩原町）が合併し誕生しました。本市は、栃木県の北部に位置し、北は那須町・西は福島県南会津町と日光市・南は矢板市・東は大田原市に囲まれております。面積は、592km²と大変広い面積ですが、その半分は山岳部で、湯量豊富な塩原温泉・板室温泉や三斗小屋温泉があり、那珂川や箒川の渓谷は四季折々の彩りを見せる自然豊かなところです。また残り半分が、那珂川と箒川にはさまれた那須野ヶ原と呼ばれる扇状地で、東北新幹線的那須塩原駅や、JR 宇都宮線の西那須野駅・黒磯駅があり、東北縦貫自動車道のインターチェンジが 2 か所や国道 4 号が縦断しております。この那須野ヶ原は、明治の初めまで荒れ野原だったところを、明治 10 年代に印南丈作や矢板武らにより、那須疏水が開かれ農場の造成が

始まったという、開拓の歴史を有するところでもあります。

塩原土地改良区は、運営の基盤強化を図るため、市町合併に合わせ旧塩原町の 4 土地改良区（墓沼堰土地改良区・塩原東部土地改良区・箒川沿岸土地改良区・奥塩原土地改良区）が、平成 17 年 1 月 12 日に合併をしました。組合員数は、635 名・受益地は、935ha で旧西那須野町の一部にまで及びます。

各地区の状況につきまして申し上げますと、旧墓沼土地改良区は大変歴史が古く、慶長年間に近隣 5 ヶ村が飲用水確保のために蛇尾川上流を水源として水路を掘削したことが始まりと言われております。蛇尾川は大田原市まで伏流水のため水無川で掘削に従事した先人達の苦労は想像を絶するものがあります。以降、明治 28 年普通水利組合設立・昭和 27 年墓沼土地改良区に変更・昭和 53 年には国営那須野ヶ原総合農地開発事業に参画し、墓沼頭首工及び用水路の改修整備が実施されました。旧塩原東部土地改良区は、国営事業参画のため昭和 43 年設立の改良区で、農地造成やパイプライン等水路整備を実施し、墓沼堰土地改良区と共に、那須野ヶ原土地改良区連合の関係土地改良区として安定した水が確保され、水稻や酪農業を経営の柱としています。昭和 50 年設立の旧箒川沿岸土地改良区は、県営圃場整備事業により整備された地域で、4 地区の中で一番大きい受益地を有し、一級河川箒川の 10 か所の取水堰から取水し、稲作経営中心の地域です。昭和 60 年設立の奥塩原土地改良区は、大根・カブを栽培していましたが、連作障害により根こぶ病が発生し、県営農地開発事業により農地造成に取り組み、組合員数 17 名・受益面積 37ha と小



「宇都野、御岳山の梵天奉納」
毎年11月23日に嶽山箒根神社（奥の院・高清水）に奉納されます



高阿津2番堰



下大貫堰



悪戸堰

- さい地区ですが、現在は組合員全員でホウレン草の雨除け栽培を中心に農業経営を行っております。

(2) 維持管理について

本土地改良区は、理事会の補助機関として旧土地改良区ごとに維持管理委員会を設け、維持管理にあたっており、その体制は、国営事業により造成整備された地区と県営事業により造成整備された地区に分けられます。国営事業実施地区では造成施設の維持管理費等は那須野ヶ原土地改良区連合負担金として納めますので、基幹施設に関する維持管理費を負担することはありませんが、県営事業実施地区は、経常賦課金の中ですべて賄うことになります。賦課金収入は受益面積や組合員数により地区ごとに大きな開きがあるうえ、地区に関係なく予算を使える状況までには至っていないのが実態です。

- 維持管理については、国営事業実施地区は、水管理を担う那須野ヶ原土地改良区連合と連携を図りながら、幹線・支線水路の清掃・水路敷地草刈り、施設パトロール・管理講習会など施設管理に努めています。

県営事業実施地区の箒川沿岸地区は、10 箇所の取水堰を有し、堰管理者と連携を図り増水や渇水時の対応にあたっています。施設は 40 年以上経過するため、毎年実施している補修工事には 20 箇所以上の要望が提出され、やむなく昨年度賦課金値上げを実施せざるを得ませんでした。その他、主要工事については、施設維持適正化事業など効率

助成の補助事業導入により、幹線水路整備補修工事等を実施してきました。課題は、河床の洗堀による水位の低下や、近年頻繁に発生する台風や集中豪雨による取水堰流失等の災害復旧工事です。災害復旧工事に伴う工事費負担金は地区の財源を大きく圧迫する状況となっています。

奥塩原地区は、高冷地の畑地で排水路清掃や防風帯草刈りなど維持管理を行っていますが、土圧や凍結・豪雨による排水路湾曲・農道陥没など同様に老朽化が課題となっており、市の支援により対策を取っている状況です。

令和 2 年度は、施設維持管理適正化事業・農地耕作条件改善事業・県単農業農村整備事業の導入により、揚水機更新・幹線用水路整備補修の 3 工事を予定していますが、今後増々増加する老朽化施設の対策は緊急課題であり、優先順位による工事計画、最適な補助事業の検討が求められています。



乃木神社

塩原土地改良区

所在地 〒 329-2801

那須塩原市関谷 59-4

TEL 0287-35-3017 FAX 0287-35-3057

土地改良区概要

設立年月日	平成17年1月12日	総代数	50名
認可番号	栃木第653号	理事数	17名
受益面積	935ha	監事数	3名
組合員数	635名	職員数	2名

各種資格取得者（平成31年4月～令和2年3月）



倉井 佳益
（農業水利施設機能総合診断士）



宮下 敬弘
（一級土木施工管理技士）



高橋昌一郎
（土地改良換地士）



村田 彩香
（土地改良換地士）



関本ひかり
（測量士補）

会員の皆さまの期待に応えられるよう今後とも努力してまいります。

『第105回臨時総会・令和2年度会員研修会』開催について

今回の臨時総会及び会員研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土地改良会館において開催いたします。

◇第105回臨時総会及び令和2年度会員研修会◇

日時：令和2年8月27日（木）

午後2時～ 第105回臨時総会

午後3時30分～ 令和2年度会員研修会

場所：栃木県土地改良事業団体連合会 3階会議室

宇都宮市平出町1260（土地改良会館）

電話：028-660-5701（代）

出前講座や会員向けホームページサービスを活用ください

本会では、土地改良区の役職員等を対象とした出前講座や会員の皆さまが気軽にホームページを開設出来るよう、導入費・維持費共に安価にて提供し、サポートしております。詳しくは、総務部総務課までぜひお気軽にお問合せください。

◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

総務部 総務課

TEL：028-660-5701 FAX：028-660-5711

土地改良施設カードを改良区で作成してみませんか？

農業に不可欠な土地改良施設（農業水利施設）の役割や重要性について、地域はもとより国民に広くPRするために、土地改良施設カード作成をしてみませんか。土地改良施設の役割を知っていただくことは勿論、観光・イベント等のPR資料としても活用でき、小さな観光大使の役割も果たすことになります。

◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）
事業部 施設保全課
電話：028-660-5703 FAX：028-660-5712

美田東部頭首工 (Mitatobu Head Works)



小山市土地改良施設カードNo.4

小山市美田東部土地改良区

会員の「変更」について

～本会会員の皆さまへ～

- ① 住所
- ② 会員名および代表者名
- ③ 電話番号
- ④ 受益面積 の変更がありましたら、
その都度「変更届」のご提出をお願いいたします。
様式については、本会ホームページに掲載しております。

<https://www.tcgdoren.or.jp/>

変更届

栃木県土地改良事業団体連合会 様

会 員 住 所

名 姓

代表者職名

年 月 日をもって届出事項に変更がございましたので、下記のとおりお届けいたします。

	変 更 前	変 更 後
会員の住所		
会 員 名		
代表者名		
受益面積		
電話番号		
FAX番号		

※受益面積は、本会ホームページに掲載しております。

備 考（※任意欄に記入してください。）

代表者職名	
代表者職名	
代表者職名	
代表者職名	

クールビズ開始のお知らせ

本会では、今年度においても、職員の健康保持及び事務能率の向上並びに電力量消費節約に資するため、次の期間はノーネクタイ等の軽装にて業務を行いますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

実施期間：5月1日から10月31日まで

本会における新型コロナ対策について

本会では、栃木県の基本的対応方針の改正に基づく、新型コロナウイルスの感染防止策「新しい生活様式」の実践に伴い、感染防止の3つの基本である、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い（アルコール消毒）を徹底しております。本会館にお越しの際は、マスクの着用とアルコール液での消毒にご協力ください。

株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

農業基盤整備資金の金利

令和2年6月18日付で、農業基盤整備資金の金利が次の通り改定されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

(単位：％)

区 分	融資期間にかかわらず	融資期間（一例）			
		5 年	10 年	15 年	20 年
都道府県栄補助残	0.35	－	－	－	－
団 体 営 補 助 残	0.20	－	－	－	－
非 補 助 一 般	0.20	－	－	－	－
非補助利子軽減	0.20	－	－	－	－
災 害 復 旧	－	0.16	0.16	0.20	0.20

お問い合わせ先：

株式会社日本政策金融公庫
宇都宮支店 農林水産事業
農業食品課
TEL 028-636-3901
<https://www.jfc.go.jp/>

日本公庫

検索

農業農村整備推進懇談会および研修会中止のお知らせ

「令和2年度農業農村整備推進懇談会～管内別土地改良団体役員研修会～」は新型コロナウイルス感染拡大予防につき、中止させていただきます。

第43回全国土地改良大会(群馬大会)延期のお知らせ

第43回全国土地改良大会（群馬大会）は、令和3年10月6日に開催延期となりました。

職員採用試験

本会は、下記の通り令和3年4月採用に向け職員採用試験を実施いたします!!

日時：前期試験 一次 令和2年7月26日（日）
二次 令和2年9月6日（日）
後期試験 一次 令和2年11月1日（日）
二次 令和2年12月6日（日）

場所：土地改良会館会議室（宇都宮市平出町1260番地）

未来の『農業』を支えるエキスパートとして、私たちと一緒に働きませんか!!

詳細は、本会ホームページをご覧ください。<https://www.tcgdoren.or.jp/>



編集後記

広報担当の植木です。一年間よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大によってこれまでの当たり前の生活が一変し、様々な自制を求められる中、この機会に改めて生きる力、適応力を見直したいと思う今日この頃。このような時だからこそ、心の「間」をとり、余裕を持つよう心掛けたいものですね。



広報担当：植木